

【重点分野－3】連合「なんでも労働相談ホットライン」（☎0120-154-052）  
2020年4月 相談集計報告

○全体の特徴

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う労働相談の増加により、全体で1,966件の相談が寄せられ、昨年の1,143件より823件増、前月同様、正社員以外で働く方からの相談が約6割を占めた。
- 業種別については、前月に続き「サービス業（他に分類されないもの）」（250件・21.7%）が最も多かった。
- 相談内容別では、「休業補償」（265件・13.5%）が一番多く、昨年一番多かった「解雇・退職強要・契約打切」（230件・11.7%）が続いた。
- 具体的な相談では、「勤め先のホテルが7月15日まで休業することになり社員全員が解雇された。社員への説明会の際に退職勧奨書類にサインさせられ、失業保険で耐えてほしいと言われた。再開するつもりなら必要な社員を残すべきではないか。」「運輸会社の路線業務をしている。コロナ禍の中にもかかわらず、会社は普段通りの対応を行っており、感染が不安。また、仕事量も増えており、休日もきちんと取れていない。疲労により事故を起こしてしまうのではないか。」といった新型コロナウイルス感染拡大に伴う相談が多く寄せられた。

		2020年			2019年		
集計対象期間		4月1日～4月30日			4月1日～4月30日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,966			1,143		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	897	45.6%	男性	583	51.0%	
	女性	1,066	54.2%	女性	560	49.0%	
	その他	3	0.2%	その他	0	0.0%	
年代 (不明除く)	10代	11	1.0%	10代	8	1.1%	
	20代	127	12.0%	20代	95	13.1%	
	30代	223	21.1%	30代	132	18.3%	
	40代	257	24.4%	40代	193	26.7%	
	50代	291	27.6%	50代	194	26.8%	
	60代	114	10.8%	60代	82	11.3%	
	70代	32	3.0%	70代	19	2.6%	
雇用形態 (未報告除く)	正社員	789	40.2%	正社員	596	52.2%	
	パートタイマー	385	19.6%	パートタイマー	189	16.5%	
	アルバイト	156	7.9%	アルバイト	67	5.9%	
	契約社員	172	8.8%	契約社員	68	6.0%	
	臨時・非常勤職員	35	1.8%	臨時・非常勤職員	6	0.5%	
	嘱託社員(再雇用含)	20	1.0%	嘱託社員(再雇用含)	10	0.9%	
	派遣社員	160	8.1%	派遣社員	74	6.5%	
	その他	247	12.6%	その他	132	11.6%	
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	250	21.7%	医療・福祉	143	20.3%
	2位	医療・福祉	172	14.9%	サービス業(他に分類されないもの)	131	18.6%
	3位	製造業	154	13.4%	製造業	115	16.3%
	4位	飲食店・宿泊業	125	10.9%	運輸業	75	10.7%
	5位	卸売・小売業	118	10.2%	卸売・小売業	66	9.4%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	休業補償	265	13.5%	パワハラ・嫌がらせ	148	12.9%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	230	11.7%	解雇・退職強要・契約打切	103	9.0%
	3位	パワハラ・嫌がらせ	155	7.9%	雇用契約・就業規則	103	9.0%
	4位	雇用契約・就業規則	147	7.5%	年次有給休暇	97	8.5%
	5位	年次有給休暇	77	3.9%	退職手続	88	7.7%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	115	6.9%	新聞・雑誌	27	2.7%	
	ラジオ・テレビ	61	3.6%	ラジオ・テレビ	21	2.1%	
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	84	5.0%	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	73	7.4%	
	ホームページ	1,068	63.8%	ホームページ	621	62.8%	
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	16	1.0%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	17	1.7%	
	紹介	155	9.3%	紹介	116	11.7%	
	その他	174	10.4%	その他	114	11.5%	

【参考】2020年4月 連合本部 インターネット労働相談受付件数 302件